



明星は、マンツーマンで前から当たってくることが多かったです。スリーポイントシュートも空いていたら遠くからでも打つ場合が多々ありました。とくにハードディフェンスでつねに当たってくところが本校が苦しんだところです。

本校は、最初から粘り強くディフェンスをしてスティールを狙っていきました。グットディフェンスをしている場面が、とても多かったです。ルーズボールも取りハードにできていたと思います。スリーポイントシュートも打つ場面が多くシュートチャンスがたくさんありました。また、応援の声がとても大きく会場の盛り上がりをお東大和でいっぱいにすることができました。試合の苦しい場面もベンチや応援席からの熱い歓声が試合を良い方向に持っていったと思います。東大和の良さがとても出ていたと思います。

ですが、ファウルが多く、途中退場する選手もいました。多くの選手が3、4ファウル取っていました。ファウルのせいでプレータイムが制限されてしまう可能性があるのも、どのように接触を図るかなどファウルの基準を改めて確認し、減らしていけると良いと思います。ディフェンスでは、手ではなく足を先に動かせるようにしたいです。多くはブロッキングやプッシングなどでふかれていました。他にも、ディフェンスやオフェンスにも言えることですが、戻りが遅いことです。パスカットから速攻しにいこうと1人が走っても周りの戻りが遅く、相手にダブルチームを組まれ、パスする相手がいなくてシュートチャンスを逃してしまうという場面が非常に多かったです。

今回は、ファウルのところで反省があったので良いディフェンスができるように日々練習していきます。コ

ンタクトバックを使った練習やディナイなど自分たちができることを最大限に活かして取り組んでいきます。